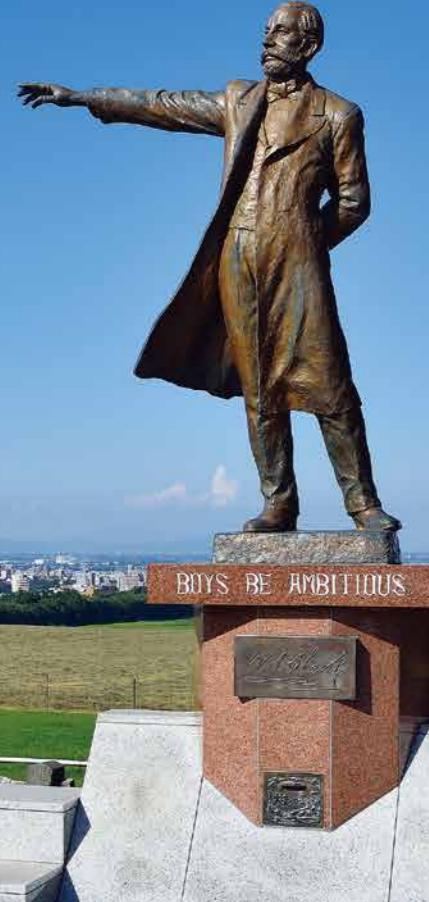


国民と共に連帯し、患者・地域住民と医療・介護・福祉労働者の人権・いのちの尊厳を守ろう

第44回 医療研究全国集会 in 北海道



1日目 6/29 木 かでる2・7 ホール

12:00 開場・受付開始

13:30 開会

14:10 記念講演

「格差と貧困」

～日本の医療・介護のゆくえ～

藤田 孝典先生(NPO法人 ほっとプラス代表理事)

16:15 特別報告

医療・介護分野でのメンタルヘルス

上野 武治先生(北海道大学名誉教授)

17:05 全体会終了

※全体会終了後サウンドデモを予定

2日目 6/30 金 かでる2・7 会議室

分科会①～⑯

9:00 各会場・受付開始

9:30 分科会開始

16:00 分科会終了

動く分科会⑯

小樽・小林多喜二と労働者のたたかい

9:00 かでる2・7 出発

15:30 かでる2・7 帰着

分科会テーマ

- ①医療と福祉の実態を知り、医療・社会保障のあり方を考える
- ②地域包括ケア
- ③保健予防活動を地域住民とともに
- ④看護ケアの質
- ⑤医療施設と在宅をつなぐケア
- ⑥ともに育ちあう職場づくり
- ⑦医療政策と看護労働
- ⑧障がい児(者)の権利と心に寄り添う医療・福祉
- ⑨変革が求められる日本の精神保健
- ⑩リハビリテーションの現場で求められるもの
- ⑪患者のための臨床検査
- ⑫病院・介護・福祉施設の給食改善
- ⑬職場の安全衛生と環境改善
- ⑭「介護労働」施設介護
- ⑮「介護労働」在宅介護
- ⑯放射線労働者の待遇と原発問題
- ⑰葉と社会
- ⑱動く分科会

憲法をいかし、すべての人の生きる権利を守り抜こう

第44回 医療研究全国集会組織委員会 TEL03-3875-5871

日本医療労働組合連合会 <http://www.irouren.or.jp/> 公益財団法人 日本医療総合研究所 <http://iryousouken.jp/>

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館1F

協賛 第44回医療研究全国集会in北海道 現地実行委員会／北海道医療労働組合連合会

会場および宿泊ホテル案内図

交通アクセス



※全国集会の分科会運営委員・助言者の宿泊は
①JRホテルルートイン札幌北口

※全国集会の事務局の宿泊は⑦札幌東急REIホテル

医療研究全国集会in北海道

サブスローガン 憲法をいかし、すべての人の生きる権利を守り抜こう

1日目

6/29木

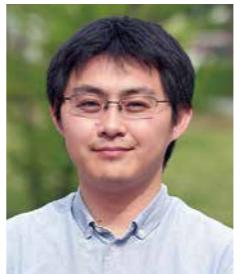
14:10~

会場 かでる2・7ホール

記念
講演

「格差と貧困」 ~日本の医療・介護のゆくえ~

藤田 孝典先生(NPO法人 ほっとプラス代表理事)



藤田孝典(フジタカノリ 33歳)
首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー。NPO法人ほっとプラス代表理事。聖学院大学人間福祉学部客員准教授。反貧困ネットワーク埼玉代表。ブラック企業対策プロジェクト共同代表。厚生労働省社会保障審議会特別部会委員(2013年度)。著書に『貧困クライシス』(毎日新聞出版2017)『下流老人』『統・下流老人』(朝日新聞出版2015-2016)『貧困世代』(講談社2016)など多数。

2日目

6/30金

分科会

9:30~16:00

会場 かでる2・7 会議室

1 医療と福祉の実態を知り、 医療・社会保障のあり方を考える ~いのちが守られる地域をつくろう~

全国各地でいのちが守れない深刻な事態が起こっています。いつでもどこでも、お金の心配なくかかる医療や介護を実現することを目的にします。分科会では、全国の地域医療を守るレポートを集中していただき、交流したいと思います。また、「貧困」や様々な実践レポートもお待ちしています。

2 地域包括ケア

申込番号 2

現在、厚生労働省が提起する「地域包括ケアシステム」は、様々な問題が指摘されています。しかし、本来は、医療・介護・福祉を中心に据えた、「人が安心して生き死にできる街づくり」の課題です。そこで、私たち医療労働者の立場から、本来の姿を提案すべく、具体的な事例を参考に議論を深め、地域ネットワークの確立など、皆さんと共に考える分科会を目指します。

3 保健予防活動を地域住民とともに ~健診・地域での健康づくりをすすめるために~

申込番号 3

「病気になら治す」から「病気にならないように予防する」へ。健康への関心が増している現在、みなさんはどのようなアプローチを行い、地域住民の健康づくり活動に取り組んでいますか?「健康」は私たち自身が作る時代です。健康診断や地域の健康づくり活動をテーマに共に話し合い、一緒に考えていきましょう。

4 看護ケアの質 ~専門性を高める~

申込番号 4

医療関係職種の役割分担が検討され「看護業務とは何か」が問われています。看護業務は保助看法に規定された「診療の補助」と「療養上の世話」に基づき行われています。日々の実践により多くの喜びや、患者の支えとなっている業務が「療養上の世話」であり、看護本来の果たす役割であると思います。日々頑張っている多くの看護職の実践を元に、看護の質について討論したいと考えています。

5 医療施設と在宅をつなぐケア ~多職種連携で患者を支える~

申込番号 5

地域医療構想や医療費適正化計画の見直し強化により、今後さらに入院ベッドの削減が見込まれます。ますます患者は医療施設から在宅療養を余儀なく課せ

記念講演・分科会のご案内

参加 諸費 2日間参加 ······ 5,000円 ※日本医労連の組合員以外の一般参加者 ······ 500円
1日のみ参加 ······ 2,500円 ※学生 ······ 無料



分科会レポート募集中

- 内容 分科会の問題提起に沿って日頃の実践をまとめてください。
- 提出先 第44回 医療研究全国集会組織委員会 ※詳しくは日本医労連 ホームページ <http://www.ioren.or.jp/>
- 締切 5月16日(火)必着
医療研究集会の魅力は、集会2日目の分科会討論です。全国の経験を持ち寄り、テーマ別に「レポート」に基づく討論と交流を行います。

16:15~ 会場 かでる2・7ホール

特別
報告

医療・介護分野での メンタルヘルス

上野 武治先生(北海道大学名誉教授)



1943年生まれ。北海道大学医学部卒業。精神保健指定医、認定産業医。大学病院等で器質性精神障害や神経難病などの研究・診療、教育に従事。労働者のメンタルヘルスに関する産業精神保健学領域、保健・医療制度や障害者福祉、障害者の雇用・就労に関する政策研究にも力を入れている。

10 リハビリテーションの現場で 求められるもの

申込番号 10

リハビリテーションは従来の医療・介護・福祉の領域だけでなく、地域包括ケアシステムつくりにおいて重要な役割を担っています。私たちが患者、利用者一人ひとりの生活がより豊かになるように頑張っていること、日々大切にしている取り組みを共有し合い、また社会情勢の変化、制度の改定と共に変化する職場環境や労働条件について討論し、明日からの実践につなげていきましょう。

15 「介護労働」在宅介護

申込番号 15

介護とは、在宅ケアの本質とは何でしょうか。人々の【生きる】ことに関わる介護の本質は、日々の実践の中にこそ存在します。「包括支援」「自立支援」など言葉ばかりが先行する介護施策が広がる中で、最前線で「介護」を実践する介護職自身が、介護の本質と専門性を発信していくことが重要です。日々の在宅介護の実践をレポートにまとめ、分科会で深めて行きましょう。

11 患者のための臨床検査

申込番号 11

いのちを測る臨床検査の仕事に誇りを持って働き続けるための討論を行っています。分科会は、レポート報告と課題別討論(夜勤問題、採血問題、業務拡大等)を中心に、全国の仲間と経験を共有します。恒例の交流会は、疲れを癒し親睦を深める場として定着しています。皆さんの参加とレポート報告をお待ちしています。

12 病院、介護・福祉施設の給食改善

申込番号 12

全国の医療機関・介護施設・福祉施設で働く給食部門の仲間が、職場での工夫や改善を話し合い、学び合う医療研究集会です。今職場には色々な困難が山積みのことと思います。しかし私たちは様々な課題を抱えながらも工夫を積み重ね「給食改善」を行ってきました。嚥下食や介護食、治療食・チーム医療への参画等、改善の成果をこの医療研で交流・学習し、自分達の職場に持ち帰って新たな実践に結び付けてきました。激動の医療・福祉情勢の改悪の中、全国の仲間の経験や工夫、実践の成果を持ち寄って大いに学び合いましょう!!!

13 職場の安全衛生と環境改善

申込番号 13

医療・福祉の職場では、長時間労働、腰痛、ハラスメントなど労働者の安全と健康を害する様々な問題が存在しています。この分科会では、職場の安全衛生活動により改善された内容をレポート報告し、参加者の職場環境の改善につながるように討論を深めます。

今回は、「違法な長時間過密労働の改善」をメインテーマに、医労連「医療・介護・福祉労働組合の安全衛生活動の手引き」を活用した分科会を企画中です。

14 「介護労働」施設介護

申込番号 14

介護施設の入所制限や医療無資格者(介護職)による医療行為の解禁など、介護の専門性が歪められ、ないがしろにされています。時間に追われる日常で、専門性を見失いがちですが、あらためて、介護の専門性を見直し、利用者一人ひとりの「その人らしさ」を尊重した介護とは何かを追究しましょう。

18 動く分科会

申込番号 18

小樽・小林多喜二と労働者のたたかい

戦争法の強行、秘密保護法、共謀罪など「戦争する国づくり」がすすめられるなかで、労働者の誇りを命がけで貫いた小林多喜二ゆかりの地小樽を見学し、平和の願いを考える。

かでる2・7(8:50集合)⇒かでる2・7(9:00出発)⇒旭展望台 多喜二文学碑⇒小樽文学館⇒昼食(小樽市内)⇒かでる2・7(15:30帰着)

先着80名:動く分科会参加費は、医療研参加費+4,500円
(昼食代は含まれません)